

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の予防対策にご協力を!

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、冬場から春先にかけて流行する傾向があり、おう吐や下痢などの症状が見られる感染症です。以下の、予防対策にご協力ください。

1、しっかりとした手洗いを励行すること

(1) 外出から帰宅したとき、(2) トイレの使用後、(3) 調理や食事の前など、石けんを使用して、指先、指の間、爪、手首までしっかりと手洗いを行いましょう。



※手洗い終了後、手に残った水分を拭くために、供え付けのタオル等でなく、ペーパータオル(使いきり)を使用するとより衛生的です。

2、おう吐物や排泄物は適切に処理すること

おう吐物、排泄物(おむつを含む)を処理する際は、その汚物自体が感染性のものであるという前提で処理する必要があります。汚物を処理した人がノロウイルスに感染しないよう事前に準備(使い捨てのマスク、手袋などの着用)をしっかりと行いましょう。以下、おう吐物等の処理(消毒を含む)の作業イメージです。

①使い捨てのペーパータオルなどを使い、おう吐物等の外側から内側に向けて静かに拭き取ります。

②使用したペーパータオル等はすぐにビニール袋にいれ、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオルに染みこむ程度に入れて袋を縛り廃棄します。

③汚物が付着していた床及びその周囲は0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染みこませたペーパータオルで浸すように拭き、その後袋に入れ縛って廃棄します。



※次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

3、ドアノブ、トイレの便座など環境の消毒も重要です

ノロウイルスは感染力が強いため、人の手などを介してドアノブ、トイレの便座及び調理器具など様々な環境に付着し、人への感染機会をうかがっています。0.02%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませたペーパータオルなどを用い、必要に応じて環境の消毒を行いましょう。

※次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)は金属腐食性があるので、消毒後は、薬剤の拭き取りを十分にするよう注意してください。

4、消毒液の作り方(家庭用塩素系漂白剤(5%)を原液とした場合)

おう吐物、排泄物等を処理する際に使用 (0.1%)	500mlのペットボトルに水を入れ、キャップ2杯(約10ml)の漂白剤を加える
ドアノブ、トイレの便座など環境などに使用 (0.02%)	1ℓのペットボトルに水を入れ、キャップ1杯(約5ml)の漂白剤を加える

※ペットボトルで作成した消毒液は、〇%消毒液と表示したうネー一度に全部使い切るなど子供などの誤飲防止に万全を期して下さい。

<相談窓口について>

・県西健康福祉センター	TEL 0289-64-3125	FAX 0289-64-3919
・県東健康福祉センター	TEL 0285-82-3323	FAX 0285-83-7003
・県南健康福祉センター	TEL 0285-22-1219	FAX 0285-22-8403
・県北健康福祉センター	TEL 0287-22-2679	FAX 0287-23-6980
・安足健康福祉センター	TEL 0284-41-5895	FAX 0284-44-1088
・宇都宮市保健所	TEL 028-626-1114	FAX 028-626-1133



栃木県